

令和2年度 決算状況

令和2年度の一般会計の歳入は297億6,763万円、歳出は286億3,352万円
で、各会計別決算は表のとおりです。金額は1万円単位に端数処理しています。

問合せ 財政課財政係 ☎内線4042

1003365

各会計の決算額

▶ 一般会計及び特別会計

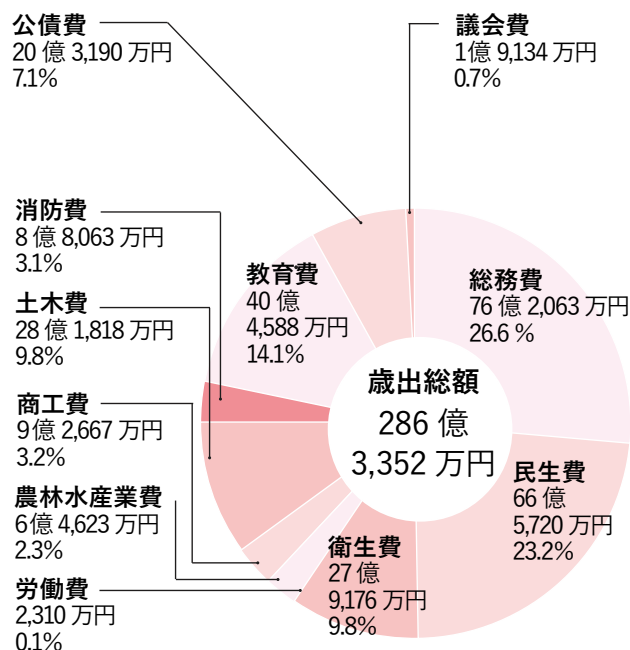
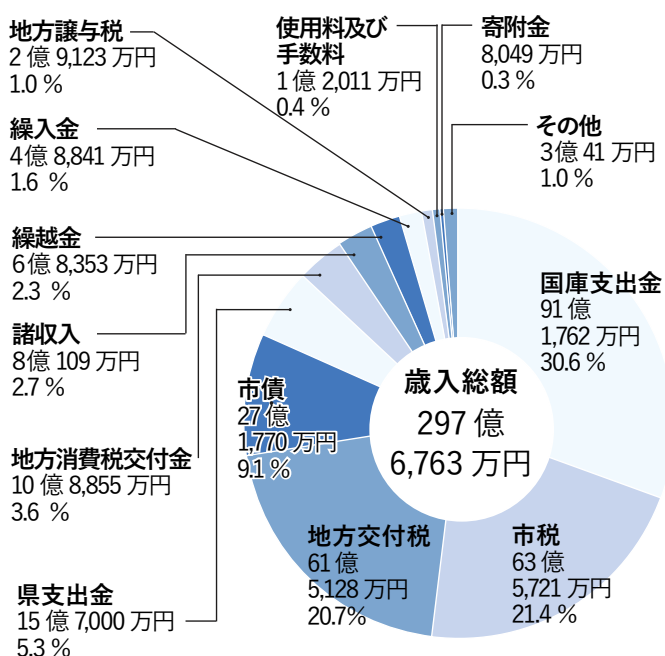
会計区分	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	297億6,763万円	286億3,352万円
特別会計		
国民健康保険	55億6,012万円	55億1,835万円
後期高齢者医療	6億4,626万円	6億4,615万円
介護保険	58億1,703万円	58億1,535万円
簡易水道事業	3億5,834万円	3億1,518万円
電気事業	3億5,435万円	3億4,861万円

▶ 公営企業会計（独立採算の会計）

区分	収入	支出
水道		
収益的収支	3億9,340万円	3億4,694万円
資本的収支	1,447万円	1億4,885万円
下水道		
収益的収支	13億7,891万円	13億878万円
資本的収支	4億2,577万円	8億9,865万円

※資本的収入額が支出額に対して不足する額は、当年度分消費税などで補てん

一般会計決算額の内訳



「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく 健全化判断比率・資金不足比率

令和2年度決算に基づく本市の状況は次のとおりです。

▶ 健全化判断比率(単位：%)

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
本市の指標	赤字額なし		7.6	79.8
早期健全化基準	12.86	17.86	25.0	350.0

▶ 資金不足比率(単位：%) 各公営企業の資金不足額の程度を示す指標

区分	水道事業会計	下水道事業会計	簡易水道事業特別会計	電気事業特別会計
本市の指標	資金不足額なし			
経営健全化基準	20.0			

健全化判断比率について、実質赤字額および連結実質赤字額はありませんでした。また、実質公債費比率および将来負担比率は、早期健全化基準を下回りました。

用語解説

○**実質赤字比率** 福祉、教育、まちづくりなど市町村の行政事務本体における赤字の程度を示す指標

○**連結実質赤字比率** 全ての会計の赤字と黒字を合算し、赤字額が黒字額を上回る場合にその程度を示す指標

○**実質公債費比率** 公債費およびこれに準ずる経費の大きさを示す指標

○**将来負担比率** 翌年度以降において負担することが確定している債務および負担が見込まれる債務の大きさを示す指標